

守ろう、
田んぼとふるさとの景色。



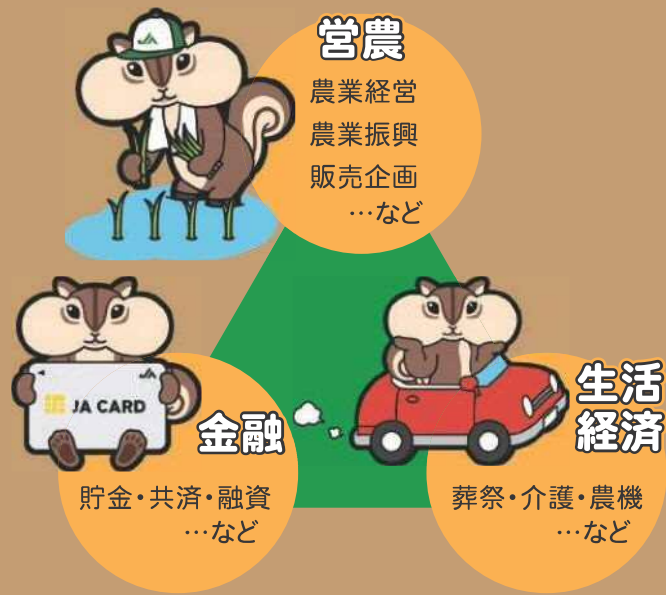
平成30年7月豪雨時 田島地区の田んぼ

田んぼにはお米を育てるという役割だけではなく大雨や台風などの自然災害から地域を守るダムのような役割があります。
また、田んぼ周辺の気温・湿度の調整や水質の浄化、メダカなどの多様な生物や草花・木々の命を繋ぐ役割など多面的な機能も果たしています。
JAむなかたは、これからも故郷(ふるさと)の景色と田んぼを守っていきます。

JAむなかたの元気の源は

総合事業

JAは総合事業体として事業を展開しています。JAの総合事業とは、金融事業を行う事で営農事業や生活経済事業などへの多額の投資が可能となるといった、事業が事業を支え、連携し合う経営の形態を指します。また、総合事業だからこそワンストップで多彩なサービスを提供する事が可能となります。



組合員アンケートへのご協力よろしくお願いします

JAむなかたは平成31年1月以降、全組合員を対象としたアンケートを実施します。大変お手数をお掛けしますが、何卒ご回答頂きます様よろしくお願い致します。

正組合員の皆さまへ

JAむなかた 自己改革の あゆみ



魅力ある地域農業を目指して

高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など課題の多い農業において、農業者の豊かな暮らしの実現や、地域農業の発展に向けて様々な取組を実践しています。
また地域の皆さまに愛され、必要とされる協同組合を目指して食育活動・地域貢献活動も積極的に展開しています。
これからも組合員と一緒に宗像・福津を盛り上げていくために邁進していきます。

宗像・福津の農業や地域の発展



JAむなかた自己改革

JAグループが取り組む自己改革は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本理念として掲げています。

JAグループは「耕そう、大地と地域の みらい。」をテーマに活動しています。

JAむなかたが
取り組む自己改革

農



生産資材の 価格引下げ

燃料の高騰による生産コストの増大に伴い肥料・農薬その他生産資材の値上げが避けられない状況の中、グリーンセンターでは共同購入・銘柄集約などにより、出来る限りの価格引下げに努めています。



急速冷凍機「凍眠」の導入

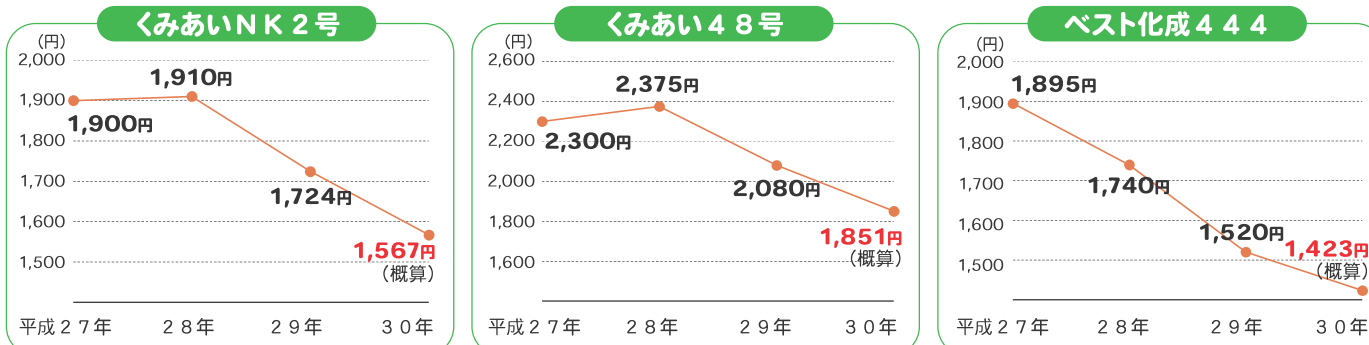
食品を真空状態で冷凍液に入れて急速冷凍を行う装置「凍眠」を設置。食品の細胞を破壊せず、素材の食味・食感を保ってくれるのが魅力です。最盛期に冷凍を行い、流通が少ない時期に販売する事を可能にしました。

パッケージセンターの活用

生産者の皆さまの作業負担を減らすため、パッケージセンターを稼働させ、パック詰めの作業を受託しています。施設の増設も行いながら、イチゴ・ミニトマト・イチジクと年々荷受けする品目を増やしています。実需者ニーズに応え有利販売に繋がります。



水稲肥料予定価格推移



高品質米生産支援奨励制度

土壌改良資材の散布によって地力を向上させ、米の品質・収量を上げる取組で、一定の条件を満たす方を対象に、出荷玄米1俵につき500円の奨励金をお支払いしています。
(平成29年度支出額:1,365万円)



ハダニ殺虫システム導入

イチゴ収量減少原因のひとつ、ハダニ。炭酸ガスで殺虫する事が出来るシステムを導入し活用しています。化学薬品が含まれていないため残留毒性の心配がありません。
(平成29年度受注数:6,079コンテナ)



農機レンタル

新規就農者との意見交換会で要望の多かった農機レンタル事業を開始しました。特に要望の多かった小型農機具を貸し出しています。



販売力強化に向けた取組

農産物直売所「ほたるの里」において園芸品目を買い取り行政と連携しふるさと納税返礼品として出品しています。また、更なる販路拡大のため農産物のインターネット通信販売に向けて取り組んでいます。市場に敷居がないため日本全国からお申込み頂ける事が魅力です。



農業用廃棄物 回収費用助成

回収方法の変更と共に、処理業者の減少や中国が環境規制のために産業廃棄物の輸入禁止措置を講じた事から農業用廃棄物の回収にかかる費用が大幅に上がりました。JAは回収費用の一部を助成する事で、負担軽減へ向けて新たに取り組んでいます。

<p>これまで ※平成29年度まで 廃棄物の種類に関わらず</p> <p>一律 15円/kg</p>	<p>これから 廃ビニール・ポリ</p> <p>38円/kg</p> <p>廃プラ 54円/kg</p>	<p>JA 助成で</p> <p>28円/kg</p> <p>44円/kg</p>	<p>回収実績</p> <p>351件</p> <p>54t</p> <p>(平成30年 11月時点)</p>
---	--	---	---

JAむなかたは、組合員とともに、「ふるさとむなかた」の農業振興と地域創りを通じて、豊かな未来を実現します。
これからも笑顔(ありがとう)があふれるJAを目指し続けます!



守ろう、
田んぼとふるさとの景色。



平成30年7月豪雨時 田島地区の田んぼ

田んぼにはお米を育てるという役割だけではなく大雨や台風などの自然災害から地域を守るダムのような役割があります。

また、田んぼ周辺の気温・湿度の調整や水質の浄化、メダカなどの多様な生物や草花・木々の命を繋ぐ役割など多面的な機能も果たしています。JAむなかたは、これからも故郷(ふるさと)の景色と田んぼを守っていきます。

JAむなかたの元気の源は

総合事業

JAは総合事業体として事業を展開しています。JAの総合事業とは、金融事業を行う事で営農事業や生活経済事業などへの多額の投資が可能となるといった、事業が事業を支え、連携し合う経営の形態を指します。また、総合事業だからこそワンストップで多彩なサービスを提供する事が可能となります。



営農

農業経営
農業振興
販売企画
...など



金融

貯金・共済・融資
...など



生活
経済

葬祭・介護・農機
...など



組合員アンケートへのご協力よろしくお願いします

JAむなかたは平成31年1月以降、全組合員を対象としたアンケートを実施します。大変お手数をお掛けしますが、何卒ご回答頂きますようよろしくお願い致します。

准組合員の皆さまへ

さかんな農 食

ありがとう ゆたかな

笑顔あふれるJA



求められるJAを目指して

JAむなかたは、農業者の組織として、地域の金融機関として、生活のお手伝いをする組織として業務を展開しています。

農協改革、准組合員の利用規制の検討など農業やJAを取り巻く環境が大きく変わりつつある中、JAむなかたは宗像・福津の未来をより豊かなものにするために様々な活動を展開しています。



みんなの
よい食プロジェクト

JAむなかた公式

LINE

はじめました!

お得な
情報配信中!

① LINE ID による登録 ② QRコードによる登録

@muu0680g

知って得する金融情報や
プレゼントクーポンを
配信しています



JAむなかたは、宗像・福津の暮らしと地域の応援団です!!

農を身近に！食を大切に！



▲芋ほり体験



▲食育活動



▲田植え体験

子どもたちや、地域の皆さまに向けて定期的な農業体験や食育活動を展開しています。

農業を身近に感じ、地産地消や自給率などを含めて食に対する意識を少しでも

高めて頂けるように努めています。宗像・福津の豊かな田園風景を未来に

つなげていけるように願っています。

農業は地域の
基盤です!



地域といっしょに盛り上がる!



▲▼地域清掃活動



▲地域のお祭りに出店



▲誰でも参加可能なイベント開催

宗像・福津の一員として、イベントへの参加・開催をしています。
各種ボランティアにも積極的に参加し、地域を盛り上げています!

宗像・福津を
もっと盛り上げます!



地域ともっと! お近づきに



©よみ食P

自己改革 実践中!

自己改革
実践中です!

農業者がより良い生活をおくれるように、
より安全・安心な宗像・福津産の農作物が
皆さまのお手元に届ける事が出来るように、
自己改革に取り組んでいます!

みんなが つがえるJAむなかた!



▲葬祭学習会



▲デイサービスセンターみのり



▲農産物直売所「ほたるの里」

JAは正組合員・准組合員だけではなく、地域の皆さまもご活用いただけます!

様々な事業を展開しており、皆さまにとってずっと身近で便利なJAである事が

出来るように職員一同頑張ります!

JAは
みんなに身近な
組織です!



農業者の豊かなくらしに向けて

自己改革!!



▲パッケージセンターによる作業



▲炭酸ガスでハダニを殺虫

▶急速冷凍機で加工

